

当院で可能なRI検査

- 当院では「骨シンチグラフィ」、「脳血流シンチグラフィ（負荷なし）」、「ドパミントランスポーターシンチグラフィ」、「心筋交換神経シンチグラフィ」、「腎動態シンチグラフィ」、「副甲状腺シンチグラフィ」の検査が可能です。
- 希望される検査名（検査部位）を画像検査予約FAX送信票（診療情報提供書兼紹介状）で選択してください。

2. 検査予約情報

検査予約日	年 月 日（曜日） 時 分
検査項目	<input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI <input checked="" type="checkbox"/> RI
検査部位 (RI検査名)	下記から選択してください。 <u>※RI検査は下記のみ可能です。希望検査に○をつけてください。</u> 骨シンチ, 脳血流(IMP), 脳血流(ECD), ドパミン, 心筋交換(MIBG), 腎動態, 副甲状腺

- ご不明な点は熊本医療センター 放射線科 ☎096-353-6501までお問い合わせください。

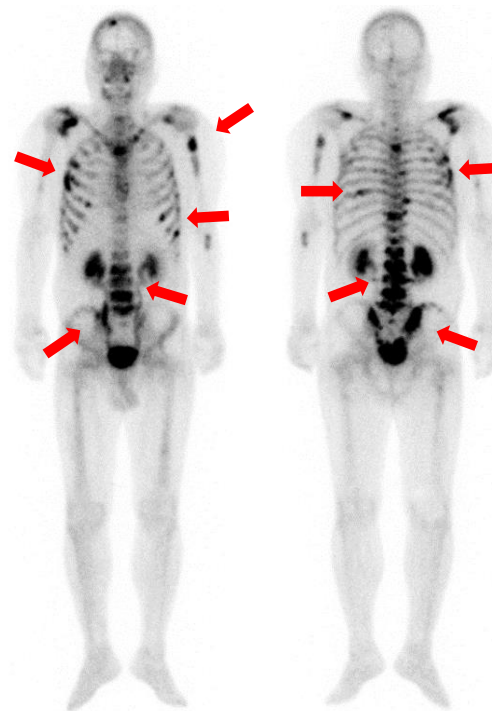
骨シンチグラフィ

- ・骨の代謝状況（骨吸収と骨形成）を調べる検査です。
- ・悪性腫瘍の骨転移の検索や、原発性骨腫瘍、骨折（特に疲労骨折）や代謝性骨疾患の診断に有用です。
- ・検査は放射性医薬品を投与して3時間後に20分程度です。

【正常】



【多発骨転移】



脳血流シンチグラフィ (^{123}I -IMP / $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -ECD)

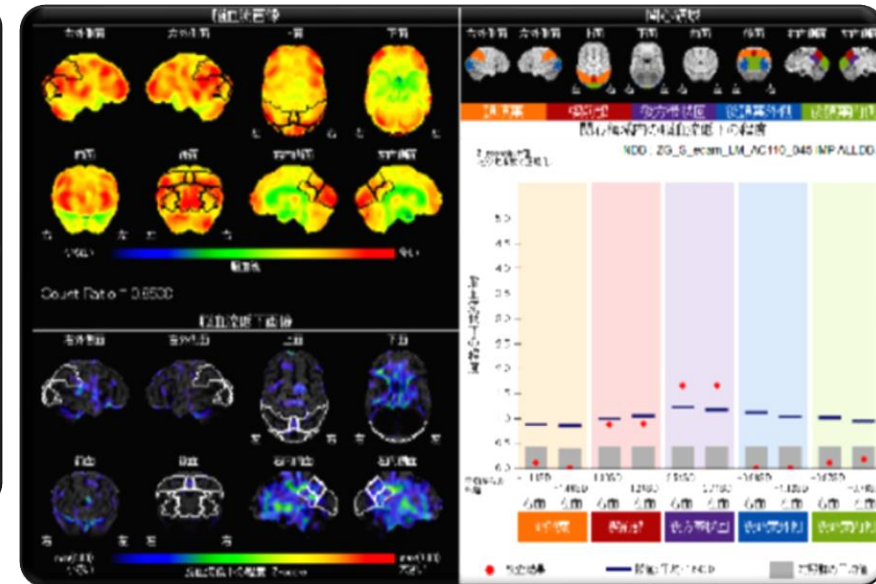
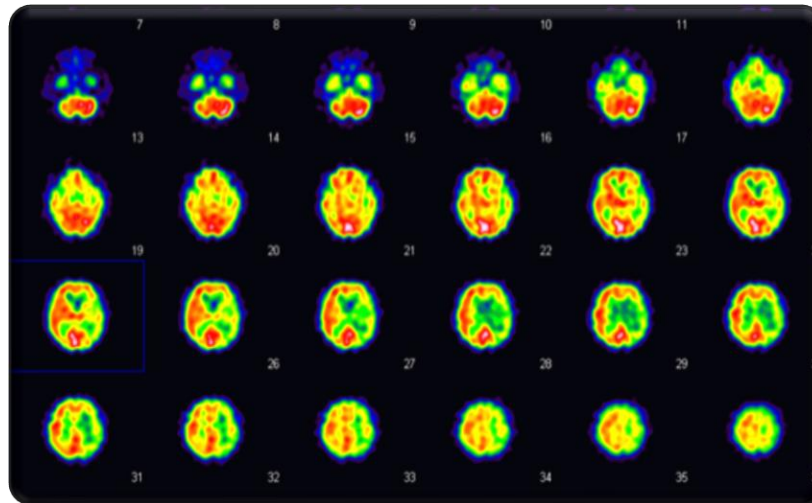
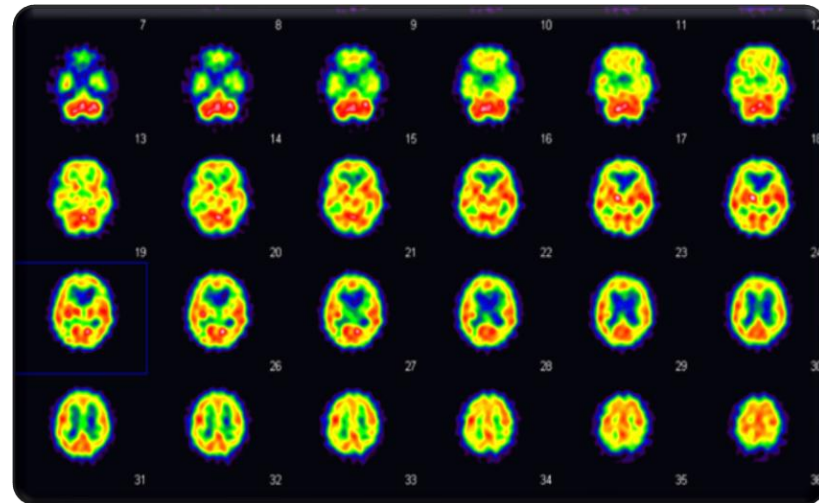
※負荷検査は行っておりません。

- ・ 脳の血流状態を評価するための検査です。
- ・ 脳血管障害や認知症（アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症など）の早期診断、てんかん焦点の検出などに用いられます。
- ・ 検査は30分～1時間程度です。

【正常】

【左中大脳動脈閉塞】

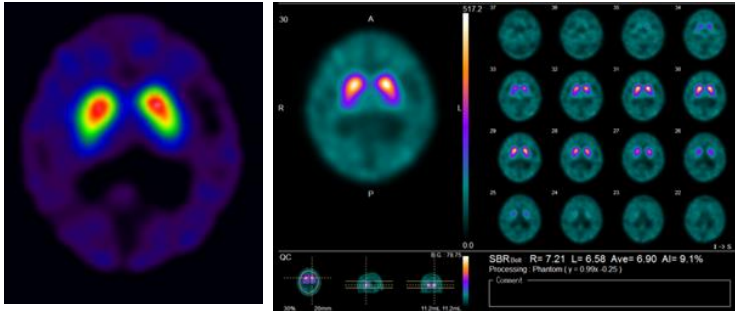
【アルツハイマー型認知症】



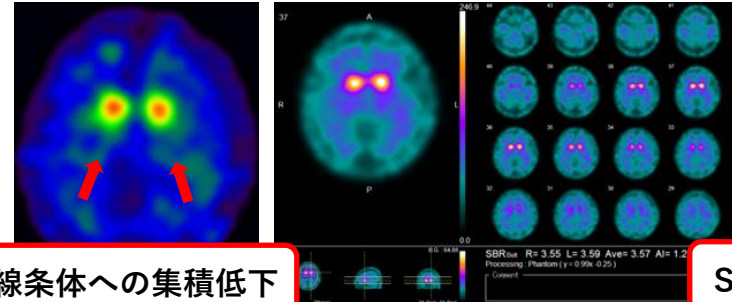
ドパミントランスポーターシンチグラフィ

- ・脳の線条体内に存在する黒質線条体ドパミン神経細胞の減少をとらえる検査です。
- ・パーキンソン病やレビー小体型認知症、多系統萎縮症などドパミン神経細胞が減少する疾患の診断に有用です。
- ・検査は放射性医薬品を投与して3時間後に30分程度です。

【正常】



【パーキンソン病】



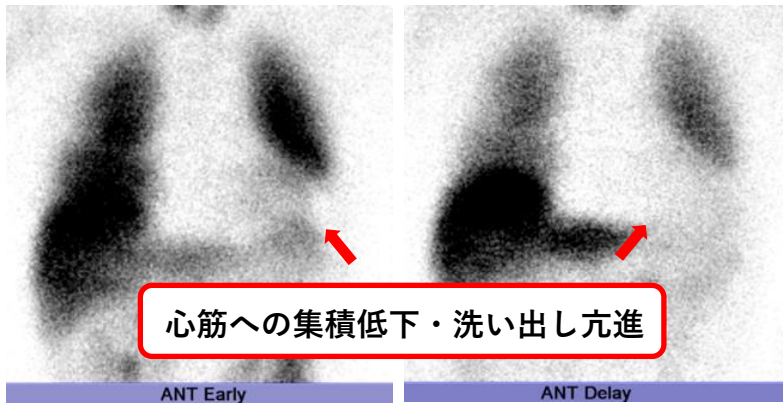
線条体への集積低下

SBRの低下

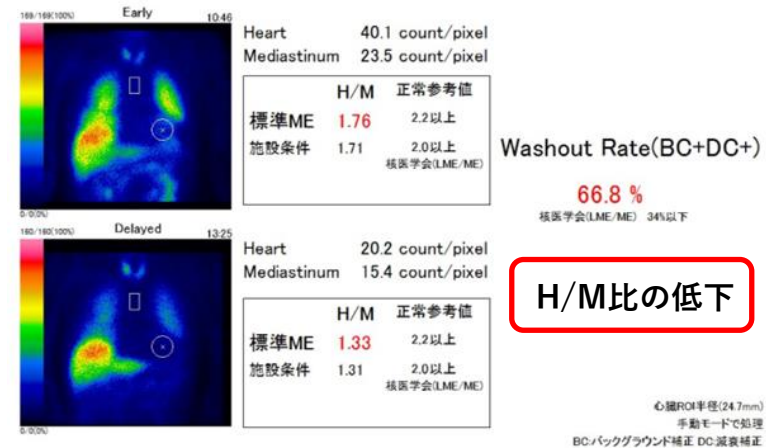
心筋交換神経シンチグラフィ (^{123}I -MIBG)

- ・心臓の交感神経終末への集積を確認する検査です。
- ・心臓/縦郭比 (H/M比) および洗い出し率により、パーキンソン病やレビー小体型認知症の診断に有用です。
- ・検査は放射性医薬品を投与して20分後と3時間後に各5分程度です。

【パーキンソン病】



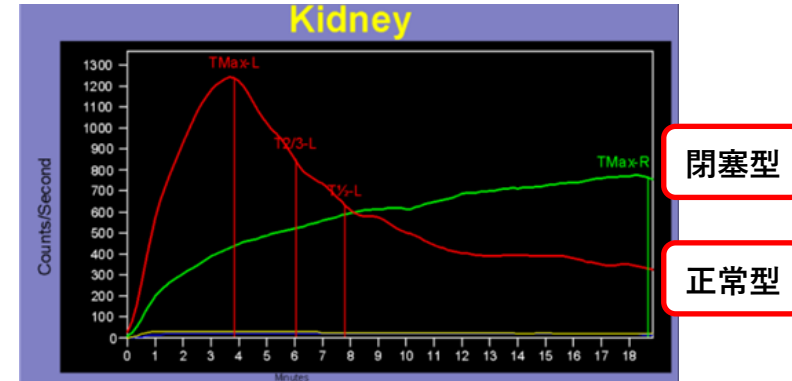
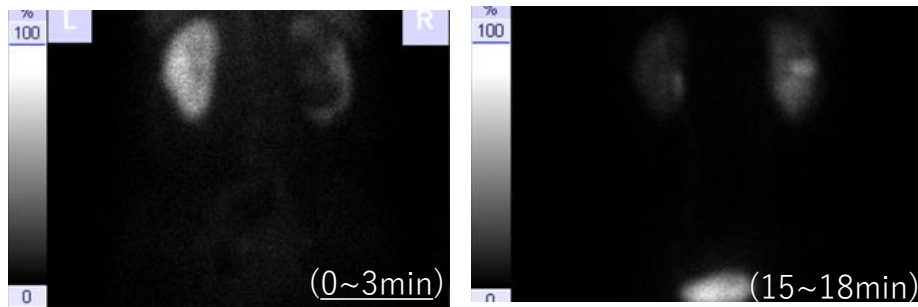
心筋への集積低下・洗い出し亢進



腎動態シンチグラフィ (^{99m}Tc -MAG3)

- ・腎臓への血液の流れや腎臓から尿管、膀胱への流れを観察し、腎臓のはたらきを調べる検査です。
- ・レノグラムを描くことで、左右の腎臓の機能を調べることができます。
- ・検査は20分～30分程度です。

【右腎水腎症】



副甲状腺シンチグラフィ (^{99m}Tc -MIBI)

- ・早期像と後期像から副甲状腺への集積を確認し、副甲状腺ホルモン過剰生産を検出する検査です。
- ・原発性副甲状腺亢進症の診断に有用です。
- ・検査は放射性医薬品を投与して10分後と2時間後に各30分程度です。

【副甲状腺腺腫】

